

『医療介護業界初！カーボンニュートラルな都市ガスを導入』

伯鳳会グループは2050年に自グループのエネルギーを全て再生可能エネルギーに転換し、カーボンニュートラルを達成する事を目標とする自治体、非営利法人、中小企業のイニシアティブである「[RE Action](#)」の発足メンバーで、環境問題に取り組んでいる医療介護グループです。

この度、伯鳳会グループでは医療介護業界初の『大阪ガスによるカーボンニュートラルな都市ガス』を導入しました。

天然ガスの採掘から燃焼に至るまでの工程で発生する温室効果ガスを、世界各地の環境保全プロジェクト（植樹など）により創出されたCO₂クレジットで相殺したカーボンニュートラルLNGを原料としているため、地球規模では、この都市ガスを使用してもCO₂が発生しないとみなされることを意味します。

これにより、伯鳳会グループのCO₂排出量は年間2,748トンの削減を見込み、その内「はくほう会セントラル病院」「介護老人保健施設はくほう」のCO₂排出量は年間455トンの削減が見込めます。

既に電気に関しては再生可能エネルギーの割合を増加させるなどの取り組みを実施していますので、今回の『カーボンニュートラルな都市ガスの導入』により更に取り組みを強化することができます。今後もカーボンニュートラルの達成に貢献できるように今後も様々な取り組みを実践して参ります。

●この取り組みに対応するSDGs



カーボンニュートラルについては以下をクリック

[環境省「カーボンニュートラル」](#)

[外務省「SDGs」](#)

[Daigasグループ「Daigasグループ カーボンニュートラルビジョン」](#)



再エネ100宣言
RE Action



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

